

KnowledgeDeliver 7.0 リリースノート

日頃は弊社 KnowledgeDeliver をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

本ドキュメントでは、新たにメジャーバージョンアップした KnowledgeDeliver7.0 の機能について説明します。

KnowledgeDeliver7 では、教材・管理機能を使いやすく一新しました。KnowledgeDeliver6 からの変更点は多岐に渡るため、システム改善における各種の方向性ごとに、代表的な変更箇所を例として列挙し説明します。

ご不明な点がございましたら、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。

目次

1. 管理画面の UI・UX 刷新	3
1.1. グローバルメニューの採用	3
1.2. ブックマーク機能	4
1.3. ファイル指定時におけるドラッグアンドドロップ操作	4
1.4. 順番並べ替え操作、削除操作のワンクリック化	4
1.5. 検索条件入力欄の折り畳み	5
2. より分かりやすく	6
2.1. テスト単元の各種設定操作をステップ化	6
2.2. CSV インポート時の用途選択項目を新設、フォーマットの分別	7
2.3. 操作導線の整理	7
2.4. 情報バルーンの表示	7
2.5. 画面中の表記、用語の刷新	8
2.6. ユーザマニュアルの刷新	8

3. 機能の統合・スリム化	9
3.1. クラスの設定権限をクラス運用者の管轄下に移管・統合	9
3.2. クラスマネージャ・メンター・チューターを「クラス管理者」に統一	9
3.3. 検索キーA・B・Cの「同一キー内」「キー間」AND・OR検索を単純化	9
3.4. 教科クラスの廃止	10
3.5. 単元別受講状況の集計タブを整理	10
3.6. 教科修了証の廃止	10
3.7. AMS オプション:「上司」の廃止	10
4. その他の修正	11
4.1. 管理者サイトと学習者サイトの分割	11
5. 動作環境	12
5.1. IOS16 に対応	12

1. 管理画面の UI・UX 刷新

管理者ファーストをコンセプトに、管理画面の UI(ユーザインタフェース)、UX(ユーザエクスペリエンス)を刷新しました。

1.1. グローバルメニューの採用

管理者サイトの画面左部分にグローバルメニューを配置し、クリックによりサブメニューが現在の画面に重ねて表示されるナビゲーション方式を採用しました。

画面上部のボタンから機能大項目のルート画面に都度遷移していた KnowledgeDeliver6 と比べて、遷移数・クリック数が減り作業効率の向上が見込めます。

またメニュー中のボタン配置も、CSV 系の機能をカテゴリとして一箇所にまとめるなど配慮し、目的の機能に至る導線を整理して分かりやすくしました。

ボタン画像への機能説明文書き込みも避け、ボタンへのマウスオーバーでツールチップを表示し対象機能の概要を説明する方式としました。文字情報の多く煩雑な状態であった KnowledgeDeliver6 と比して、アイコン中心のシンプルかつクリアな画面表示となりました。



1.2. ブックマーク機能

管理者サイトに新機能「ブックマーク」を設けました。KnowledgeDeliver の各機能からユーザが任意に選択したものをブックマーク保存し、ホーム画面またはグローバルメニュー「ブックマーク」項目からのワンクリックでそのページに遷移できます。



1.3. ファイル指定時におけるドラッグアンドドロップ操作

コンテンツ作成時の素材選択や参考情報の添付におけるファイル指定操作でドラッグアンドドロップを可能にし、より軽快で直観的な操作を実現しました。

1.4. 順番並べ替え操作、削除操作のワンクリック化

各種の一覧表示における情報・アイテムの順番並び替え操作を、従来の「対象選択→上ないし下への移動ボタンクリック」から「∧」「∨」ボタンによるワンクリック操作に改善しました。即時レスポンスによる直観的な操作が可能です。

例) 教科目次での単元並び替え



KD7



「上」「下」ボタンで直接移動

また、各所の削除操作でも「対象選択→削除ボタンクリック」からごみ箱アイコンのワンクリックに操作方法を変更していますが、同時に簡易すぎる削除が誤操作につながらないよう確認メッセージ等により配慮しております。

1.5. 検索条件入力欄の折り畳み

受講者別受講状況などの機能において、検索条件入力欄を折り畳み／展開できるように「検索」ボタン右に「上」「下」ボタンを設けました。検索後の条件入力欄折り畳みによる画面スペースの有効活用が可能です。

A screenshot of a search interface. The top part shows various search filters like '部門' (Department), 'クラス' (Class), and '受講状況' (Enrollment Status). A search button is located at the bottom of the filter section. A red box highlights the search button, and a red arrow points to a zoomed-in view of the search button. In the zoomed-in view, a small up/down arrow icon is visible next to the search button. Below the search interface, there is a table with columns for '科目' (Subject), '氏名' (Name), '部門' (Department), '受講期間開始日' (Enrollment Start Date), '受講期間終了日' (Enrollment End Date), '最終学習日' (Last Learning Date), '修了日' (Completion Date), '進捗率' (Progress Rate), '学習時間' (Learning Time), '最終得点' (Final Score), and '最高得点' (Highest Score).

科目	氏名 <ユーザーID>	部門	受講期間開始日	受講期間終了日	最終学習日	修了日	進捗率	学習時間	最終得点	最高得点
ユーザの作成と確認	ユーザ <manual-admin...>	デジタル・ナレッジ	2022/11/09	2022/11/30	2022/11/09	2022/11/09	100%	00:00:14		
ユーザの作成と確認	user01 <manual-user...>	デジタル・ナレッジ / ...	2022/10/01	2023/02/28	2022/11/15	2022/11/14	100%	00:00:21		

2. より分かりやすく

UIに加えて管理側の機能や操作方法なども見直し、より誤解なく、短期間の習熟でeラーニングを運用できるようシステムを改善しました。

2.1. テスト単元の各種設定操作をステップ化

KnowledgeDeliver6では一画面でコンテンツ割り当て・配点設定・ランダムおよび必須出題設定・コメントのすべてを設定していたところを、段階を追って設定できるよう操作をステップ化しました。

「**①分野設定**」「**②コンテンツ割り当て**」「**③出題/配点設定**」の各画面に順に遷移する方式となり、画面に従って入力すれば設定が完了する分かりやすい操作となりました。

The screenshot illustrates the step-by-step process of setting up a test unit in KnowledgeDeliver6. The interface is divided into three main steps: 1. 分野設定 (Subject Setting), 2. コンテンツ割当 (Content Assignment), and 3. 出題/配点設定 (Question/Point Setting). Red arrows indicate the flow from step 1 to step 2, and then from step 2 to step 3.

Step 1: 分野設定 (Subject Setting)

この画面では、全体の名前とコンテンツを割り当てる分野の分野数、名前を設定してください。確認テストの全体名を「全体」と入力し、分野1と分野2を設定します。

Step 2: コンテンツ割当 (Content Assignment)

この画面では、分野1にコンテンツを割り当ててください。第1章 修了テストのコンテンツを選択し、配点を1と設定します。

Step 3: 出題/配点設定 (Question/Point Setting)

この画面では、出題設定と配点設定を行います。出題設定として「全体ランダム出題しない」を選択し、コメントを設定します。分野1の配点設定として「配点 1」を設定し、「必須出題」を選択します。

2.2. CSV インポート時の用途選択項目を新設、フォーマットの分別

KnowledgeDeliver6 では、CSV インポートの用途(新規登録/更新/削除)について CSV ファイル中の情報自体に「更新フラグ」「削除フラグ」の項目を設けていましたが、KnowledgeDeliver7 ではインポート時の操作において「登録する」「更新する」「削除する」のラジオボタンを選択する方式に変更しました。



併せて、使用する CSV ファイルのフォーマットも「登録用」「更新用」「削除用」のように用途に沿って分別し、各所の CSV フォーマット提示機能でも種別を選んで表示できるようにしています。

2.3. 操作導線の整理

KnowledgeDeliver6 にて「部門管理 > ユーザ管理 > ユーザ検索」と「部門管理 > ユーザ検索」のように同一の機能に至る複数の操作導線があった点を整理しました。

2.4. 情報バルーンの表示

画面の各所に ? マークを設け、マークへのマウスオーバーでその機能に関する補足説明が吹き出し(情報バルーン)で表示されるようにしました。



2.5. 画面中の表記、用語の刷新

画面中の文言を見直し、表記ゆれ・語法の矛盾を解消しました。難解であった用語も、以下のように分かりやすく刷新しました。

KnowledgeDeliver6 での文言	KnowledgeDeliver7 での文言
必須項目 (※その単元の受講を完了するまで後 続の単元を受講不可とする設定)	チェックポイント
変更履歴世代制限	パスワード再利用制限
ロックアウト設定認証失敗回数	連続認証失敗上限

2.6. ユーザマニュアルの刷新

ユーザマニュアルをフォーマット、内容ともに刷新しました。KnowledgeDeliver7 に合わせた簡明な説明と見やすいレイアウトに仕上げ、文章量も整理し削減しました。

3. 機能の統合・スリム化

情報の複雑化・肥大化に繋がる過剰機能の統廃合を行い、ユーザが全貌を把握しやすいシステムに改善しました。

3.1. クラスの設定権限をクラス運用者の管轄下に移管・統合

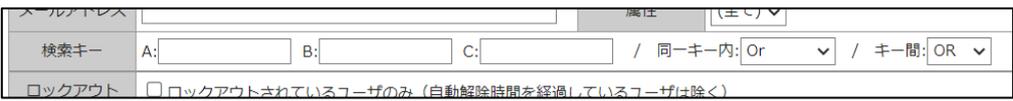
システム管理者の管轄下にあった「クラス管理」機能を、クラス運用者の管轄下に「クラス設定」機能として移管・統合しました。

3.2. クラスマネージャ・メンター・チューターを「クラス管理者」に統一

KnowledgeDeliver6 において、部分的なクラス運用権限を持つ立場に「クラスマネージャ」「クラスメンター」「クラスチューター」の 3 種類が設定可能であった点を「クラス管理者」の一つに統一しました。

3.3. 検索キー A・B・C の「同一キー内」「キー間」AND・OR 検索を単純化

ユーザ検索にて、ユーザに付与された情報「検索キーA」「検索キーB」「検索キーC」を条件として検索を行う場合、KnowledgeDeliver6 では「同一キー内」項目および「キー間」項目の AND・OR 設定を組み合わせる操作となり、非常に難解でした。KnowledgeDeliver7 ではこれを改め、すべてのキーを同列に扱う AND 検索に統一し、分かりやすく単純化しました。

KD6	
KD7	

3.4. 教科クラスの廃止

クラス数の肥大に繋がるため、教科を作成した際の「教科クラス」自動生成を撤廃し、作成したクラスに教科を登録する運用に一本化しました。

3.5. 単元別受講状況の集計タブを整理

単元別受講状況の集計タブにおける「ランク別集計」「属性別集計」「成績分布」を廃止しました。

3.6. 教科修了証の廃止

クラスの修了とは別に、クラスに登録された個々の教科の修了に対して発行できた「教科修了証」を廃止しました。

3.7. AMS オプション：「上司」の廃止

AMS オプションにおいて「上司」の要素を撤廃し、上司へのメッセージ設定機能、上司情報のインポート・エクスポート機能を廃止しました。

4. その他の修正

4.1. 管理者サイトと学習者サイトの分割

サイトを、それぞれにログイン URL を持つ「管理者サイト」と「学習者サイト」に分割しました。

5. 動作環境

5.1. iOS16 に対応

管理者サイトの教材作成クライアント以外の運用において、iOS 16.1 に対応しました(ブラウザは Safari)。